

DERAJUMP2022

パフォーマンスルール①

<p>出場条件 チーム構成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●カテゴリー ・混合部門 (子供も大人もごちゃ混ぜ) ・ジュニア部門 (小学1年～6年生) ・U-19部門 (中学1年生～高校3年生) ・大学生部門 (大学生・専門学生) ・社会人部門 (社会人) <ul style="list-style-type: none"> ●チーム構成に関する注意事項 ・メンバー構成がカテゴリーをまたぐ場合、最高齢のメンバーが該当するカテゴリーに"エントリー(申込)"することとなる。 ・メンバー構成において性別・人数は自由。 ・同部門内にて、メンバーが他チームと重複してのエントリーは可能。
<p>禁止事項</p>	<p style="color: red;">下記項目に該当すると実行委員会及び審査員がみなした場合、出場停止及び失格とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●大会準備や運営の著しい妨げとなる行為を行った場合。 ●施設使用ルールを守らなかった場合。 ●他のチームの競技を意図的に妨げる行為を行った場合。 ●ステージを汚したり、床を傷つけたりする素材のロープを使用した場合。 ●公序良俗に反する行為を行った場合。 ●空中で2回転する前方及び後方宙返りや、無謀なアクロバット技を行った場合。 ●客席に危害が及ぶ行為を行った場合。 ●演技後に舞台上の清掃が必要となる行為を行った場合。 ●火気を使用した場合。(火、クラッカー等)
<p>確認事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●パフォーマンス中にロープが破損した場合は、数チーム後に1度だけ、パフォーマンスをやり直すことができる。 ●パフォーマンス中にこれ以上演技させることが“危険”と判断された場合は、演技中に関係なく音源を停止し、パフォーマンスを中止し失格とする。この中止後に再度演技を行うことはできない。 ●演技本番中に何らかのトラブルで事前に提出した音源と異なった音源が流れる(音飛び・雑音が紛れる等も含む)ことがあった場合、チーム代表者が音源トラブルを確認した時点で挙手をし、更に演技を中止し「再演技」を申請することができる。最低10分空けた後に再度演技を行うことができる。この場合の競技得点は、やり直しを行った方の得点を採用する。 ●卑猥な又は、汚い言葉が使われている音源は使用しないよう注意すること。

DERAJUMP2022

パフォーマンスルール②

<p>競技内容</p>	<p>チームメンバー全員で、音楽に合わせて創作ダブルダッチパフォーマンスを行い、技術力・表現力・構成力・独創力を競い合う。パフォーマンス時間については、混合部門は4分以内、その他の部門は3分以内とする。</p>
<p>開始・終了の合図</p>	<p>パフォーマンス開始方法には、板付きと音先の2つがある。</p> <p>板付き:ステージ上に待機してから音楽を流し、パフォーマンスを開始。</p> <p>音先:音楽を先に流してからステージに登場して、パフォーマンスを開始。</p> <p><板付きの場合></p> <ol style="list-style-type: none"> ①ステージ上でパフォーマンス開始の準備ができた後に、チーム代表者が舞台担当者に手を挙げて準備完了の合図を出す。 ②音響担当者が音楽を流し始める。 ③音楽が始まった時点でパフォーマンス開始とする。 ④音楽が終了した時点でパフォーマンス終了とする。 <p><音先の場合></p> <ol style="list-style-type: none"> ①ステージ外にて、パフォーマンス開始の準備ができた後に、チーム代表者が舞台担当者に手を挙げて準備完了の合図を出す。 ②音響担当者が音楽を流し始める。 ③音楽が始まった時点でパフォーマンス開始とする。 ④音楽が終了した時点でパフォーマンス終了とする。
<p>ロープ</p>	<p>ステージを傷つけないロープであれば、特に指定はない。 ※ワイヤーロープやビーズロープの使用は禁止</p>
<p>衣装</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●公序良俗に反しない衣装を着用すること。 ●本番用衣装を必ず事前に着用して、安全性を確認すること。
<p>音楽</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●パフォーマンス用音楽は、編集効果(フェードアウトやエコー等)で終わる音も含めて、規定時間内に編集して、MP3形式で運営に事前提出する。 ●提出方法などの詳細は、エントリー手続き中にチーム代表者へ通知する。 ●競技開始後の音源トラブルに関しては、大会ルール「確認事項」を参照。
<p>アクロバット技</p>	<p>デラジャンプでは、アクロバット技を次のように定義する。</p> <p>体操競技・ブレイクダンス・サーカス等で行われている、宙返りをする技や、足以外の部位を使用してジャンプを行う技(プッシュアップ、ドンキー、シフト等)のこと。2人組で行う組技も含む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●アクロバット技を行う場合は、専門家から安全な練習方法を学び、安全に計画的に練習すること。 ●アクロバット技を行い、助走・踏切・宙返り・着地などにおいて、余裕がなく審査員が一人でも危険と判断した場合は、順位に関係なく失格とする。 <p>※大会ルール「確認事項」を参照。</p>

DERAJUMP2022

パフォーマンス審査方法

技術力	ダブルダッチのロープのなかで行われる各技を評価し審査する。 特に「ジャンパー・ターナーの安定感」「ロープがたるまない綺麗さ」「ターニングのリズム感」を中心に、各技(ロープトリック、ジャンプトリック、アクロバットなど)の習得レベルを審査する。
表現力	衣装、表現方法、曲の雰囲気に合わせて表現方法、全てが洗練されているか審査する。特に「曲・衣装・パフォーマンスの一体感」「チームメンバー全員の表現力の統一感・イメージの共有」「ジャンパーはもちろんのこと、ジャンパー以外の動きも含めた表現方法」などを中心に、パフォーマンスをより効果的に見せる工夫を審査する。
構成力	演技全体の演出方法を審査する。特に「オープニング、エンディングの演出」「使用する曲と演技の融合感」「メリハリ」「技間のスムーズさ」「インパクト」「ステージの広さを生かした演出」などを中心に、パフォーマンス一連の流れを一つにまとめ上げることができているか審査する。
独創力	チームの特色、他のチームにはない観客を引きつける独自の技、演出や曲の使用法を審査する。特に「これまでに行われていない、もしくはあまり行われていないロープトリックやジャンパートリック」「スピードステップ」「技の組み合わせ方」「新しい見せ方」などを中心に、表現されるそれぞれの個性を審査する。
反則 ミスジャッジ	ミス数のカウント / 禁止行為の有無 / 危険行為の有無。 DERAJUMP2022パフォーマンスルール「禁止事項」に掲載している内容とミス数をカウントする。

【表彰】

- ・各部門で表彰。

出場チーム数	1～3チーム	4チーム	5チーム以上
表彰チーム	1位のみ	1～2位	1～3位

- ・各部門1名ずつ MVPプレイヤーを表彰する。

【得点方法】

- ・「技術力」「構成力」各30点満点。
- ・「表現力」「独創力」各20点満点
- ・4項目の合計点で順位を決定。(計100点満点)

【得点が同点だった場合の審査方法】

- ・各項目合計得点が同点だった場合、下記の順で優劣をつけることとする。
 - ①対象チームのミス数（これは各項目合計得点から減点されるものではない。）

②対象チームの審査結果から、各審査員の中の最高得点の数。

③審査員の協議で決定。

【パフォーマンスステージの広さ】

奥行き7.2m×幅14m